

関西の舞踊事情

千住真智子

本稿は、特に大阪を中心に戦後の関西での音楽・舞踊文化の広がりや今日の舞踊事情について、1) 大阪の音楽・舞踊文化について、2) 1972年から1992年の関西（大阪を中心に）の舞踊事情について、①1972年以降の舞踊公演の現状、②市民に開放された劇場と舞踊公演—特にA市の文化ホールと舞踊公演の2点から検討し、その現状について報告を行う。

1) 大阪の音楽・舞踊文化について

大阪の舞踊文化は、音楽文化の発展よりも一歩遅れた形で進んできた。大阪の洋楽は、明治12年に陸軍教導団軍楽隊が大阪鎮台に創設された頃に遡り、明治39年大阪音楽協会が永井孝次によって創設され最初の管弦楽団が結成されるまで、この軍楽隊を中心に音楽学校や軍楽隊の出身者の努力によって関西に根つき始めることとなった。明治末から大正のはじめには、大阪フィルハーモニー会、関西音楽団、羽衣管弦団、大阪管弦団などが次々に結成され、また大正13年には宝塚少女歌劇団の管弦楽部のコンサートが大阪中央公会堂で開かれたり関西の音楽文化は次第に広がりをもつようになった。昭和にはいると海外からの来日演奏家も増え、宝塚少女歌劇、大阪松竹の少女歌劇団の公演も行われるようになり、大衆に身近なものとなってきている。しかし昭和12年以降は戦争の影響を受けることとなったが、戦後は朝比奈隆を中心に関西交響楽団が結成され定期演奏会が開かれたり、来日する演奏家も増え戦前の音楽活動が息を吹替えし急速に広がりを見るようになる。しかしながら戦後の演奏を行うホールは数も少なく演奏会の増加に対処できず、大規模の公演の際にはしばしば宝塚大劇場が使われていたようである。昭和20年から30年にかけて次々に新しいホールが設置されホールの需要には対処できたものの、このことが演奏会の数の増加に拍車をかけるきっかけにもなった。昭和33年から開催された大阪国際フェスティバルはレニングラードフィル、団伊球磨のオペラ、ニューヨークシティバレエ、ザルツブルグ人形劇、能、歌舞伎、文楽、雅楽等多彩な内容で行なわれ、昭和42年のバイロイト祝祭オペラ公演でフェスティバル発展のピークを迎えるまで様々の公演が行われていた。ほぼこれと並行するかたちでなわ芸術祭、大阪芸術祭が開催されている。こうした様々の公演は、関西の地に数多

くの鑑賞団体を生み出し、音楽・演劇・舞踊と舞台芸術を一同に鑑賞できる芸術祭を開催する土壌を作り上げていったようだ。

このような音楽文化の歴史に比べて、舞踊（特にバレエ・モダンダンス）の歴史はかなり遅れて出発している。関西のバレエは、昭和12年友井唯起子、法村康之が結成した法村・友井近代バレエ団に始まると考えられる。昭和15年創作バレエ“カルメン”の公演に始まり、昭和28年“シェラザード”で芸術祭奨励賞を受賞するなど精力的に新作を送りだしその功績は関西のバレエの発展に重要な位置をしめるものであった。昭和41年以降は父康之の後継者として法村牧緒がこのバレエ団を関西の中で不動のものとしていった。昭和58年友井唯起子の死後女史の指導を受けた舞踊家が各地に根つき後進の指導にあたっている。モダンダンスでは、現在も現役である江口乙矢氏、海外との交流に積極的に取り組んでいる神沢和夫氏、数々の舞台公演を通じて独自の世界を築いている泉勝志が、現在関西の中軸になっていると考えられる。

2) 1972年から1992年の関西（大阪を中心に）舞踊事情について

①1972年以降の舞踊公演事情

1972年以降1992年までに行われた舞踊公演2382公演について、公演目的・舞踊のジャンル・主催団体名・会場（ホールの規模）・地域名の5点から分類・分析を行った。年代別公演数及び公演目的別公演数の推移については以下の表に示すとおりである。

1972年以降の舞踊公演の現状について、検討した2382公演から推察できることは、ア) 舞踊の公演数は、1970年代149公演から1985年にはおよそ5倍の685公演に1990年には8倍の1239公演とその数は加速度的に増加している。これは、大阪府の公立文化施設（ホール）の設置数が1960年以降1990年にかけて10年単位で平均10個、年に1個の割合で増加しホール事情が良くなったこと、大きな舞踊団から独立した舞踊家達が各地域に根づいて指導をつづけ、新しい舞踊家を育てるために小規模の発表会を開いていること、また指導者の出身舞踊団本部の合同公演も並行して増えているためと思われる。イ) 1970年代は大阪府下を中心に行われて舞踊公演も、1980年以降は京都・兵庫県はもとより、滋賀・和歌山と近畿各地で舞踊公演が行われその数も増えている。ウ) 1970年代は、〇〇発表会と称されていた舞踊公演が、1980年以降は支部が集まって開催される〇〇舞踊公演へと名称が変わっているものが増えている。これは、かつて小規模の発表会を開催することが精一杯であった舞踊団が成長し支部が増え、年1回の発表会と年に1～2回の合同公演と一つの舞踊団当

り開催される舞踊公演が増えているためと考えられる。エ) 1985年以降は、主催団体、公演内容も単独で行われるものから主催団体も複数になり、バレエ、モダンダンスとのジョイント、バレエ、ジャズダンスとのジョイントとその内容も多様になっている。オ) 1980年以降は、公演を主催する団体が〇〇舞踊団から〇〇協会、〇〇市主催に変わり、公演の形式も1つの団体ではなくいくつかの団体が作品を出し合う合同公演が増加している。

関西の各地域で開催されている舞踊公演の全てを網羅してその公演目的等を明確にし、分類・分析することは難しい。しかしながら今回取り扱った2000あまりの公演記録の範囲から関西の舞踊の現状を推察すると以上に記述した通り5つの点がその現状であるといえるだろう。

②市民に開放された劇場と舞踊公演—特にA市の文化ホールと舞踊公演

関西の音楽文化も公演できるホールの増加をきっかけに、一般市民により身近なものとして広がりをもつようになっていったことと同様に、現在舞踊が公立文化施設の中で舞台芸術鑑賞の一つとしてどのような広がりを見せているのかについて調査を行った。A市のホールは、現在公立の文化施設の中で全国的にも非常に可動率の高いホールである。1985年に設置され、大・中・小の3タイプのホールと可動式の舞台構造をもった大阪府下でも中規模のホールである。1985年から1992年までの7年間に行われた公演を内容別に、音楽・舞踊・演劇のジャンルでそれぞれの公演回数をみると、音楽では2131回、舞踊136回、演劇501回であった。舞踊の公演は年間当り19回と月当り1回は開催されていることになる。音楽・演劇に比べて頻度は低く公演月には多少のかたよりはあるものの月一回のペースで開催されている舞踊公演は一般市民に鑑賞の機会は開かれたものであるといえるだろう。

表1：年代別公演数の推移

| 開催年 | 公演数 |
|--------|------|
| 1972-3 | 70 |
| 1974-5 | 79 |
| 1982 | 146 |
| 1983 | 142 |
| 1984 | 184 |
| 1985 | 213 |
| 1986 | 201 |
| 1987 | 253 |
| 1988 | 256 |
| 1989 | 248 |
| 1990 | 281 |
| 1991 | 262 |
| 1992 | 47 |
| | 2382 |

表2：公演目的別公演数の推移

| 公演目的1 | 2 | 開催年 | 公演数 |
|-------|-------|--------|-----|
| 発表会 | 支部 | 1972-3 | 0 |
| | | 1974-5 | 0 |
| | | 1982 | 1 |
| | | 1983 | 3 |
| | | 1984 | 6 |
| | | 1985 | 12 |
| | | 1986 | 8 |
| | | 1987 | 10 |
| | | 1988 | 12 |
| | | 1989 | 12 |
| | | 1990 | 13 |
| | 本部 | 1972-3 | 63 |
| | | 1974-5 | 57 |
| | | 1982 | 118 |
| | | 1983 | 133 |
| | | 1984 | 151 |
| | | 1985 | 128 |
| | | 1986 | 131 |
| | | 1987 | 138 |
| | | 1988 | 153 |
| | | 1989 | 155 |
| | | 1990 | 160 |
| リサイタル | 個人 | 1972-3 | 2 |
| | | 1974-5 | 15 |
| | | 1982 | 21 |
| | | 1983 | 0 |
| | | 1984 | 3 |
| | | 1985 | 3 |
| | | 1986 | 4 |
| | | 1987 | 12 |
| | | 1988 | 2 |
| | | 1989 | 1 |
| | | 1990 | 4 |
| | ジョイント | 1972-3 | 0 |
| | | 1974-5 | 0 |
| | | 1982 | 1 |
| | | 1983 | 1 |
| | | 1984 | 2 |
| | | 1985 | 3 |
| | | 1986 | 2 |
| | | 1987 | 3 |
| | | 1988 | 1 |
| | | 1989 | 0 |
| | | 1990 | 0 |
| 1991 | 0 | | |
| 1992 | 0 | | |

| 公演目的1 | 2 | 開催年 | 公演数 |
|-------------|----|--------|-----|
| 公演 | 地方 | 1972-3 | 0 |
| | | 1974-5 | 0 |
| | | 1982 | 0 |
| | | 1983 | 1 |
| | | 1984 | 3 |
| | | 1985 | 51 |
| | | 1986 | 35 |
| | | 1987 | 62 |
| | | 1988 | 58 |
| | | 1989 | 49 |
| | | 1990 | 54 |
| | 全国 | 1972-3 | 1 |
| | | 1974-5 | 1 |
| | | 1982 | 1 |
| | | 1983 | 0 |
| | | 1984 | 0 |
| | | 1985 | 1 |
| | | 1986 | 1 |
| | | 1987 | 0 |
| | | 1988 | 0 |
| | | 1989 | 2 |
| | | 1990 | 6 |
| 1991 | 1 | | |
| 1992 | 0 | | |
| パフォー マンス | | 1972-3 | 0 |
| | | 1974-5 | 0 |
| | | 1982 | 0 |
| | | 1983 | 0 |
| | | 1984 | 0 |
| | | 1985 | 0 |
| | | 1986 | 3 |
| | | 1987 | 0 |
| | | 1988 | 0 |
| | | 1989 | 2 |
| | | 1990 | 3 |
| 1991 | 2 | | |
| 1992 | 1 | | |
| 合同公演 | | 1972-3 | 4 |
| | | 1974-5 | 6 |
| | | 1982 | 4 |
| | | 1983 | 4 |
| | | 1984 | 19 |
| | | 1985 | 15 |
| | | 1986 | 21 |
| | | 1987 | 28 |
| | | 1988 | 29 |
| | | 1989 | 27 |
| | | 1990 | 41 |
| 1991 | 34 | | |
| 1992 | 8 | | |